

子宮頸部円錐切除術を受けられる

様の入院計画表

(患者ID: _____)

岡山赤十字病院 病棟 () () 科 主治医 () 受持ち看護師 () 平成 年 月 日 患者様署名(代理人署名) ()

	月 日		月 日		月 日		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日		
	入院日	手術前日	手術当日		1日目	2日目	3日目	4日目	退院日				
達成目標	手術・麻酔について理解している。			鎮痛剤を使用し、痛みのコントロールができる。		身の回りのことが自分でできる。				退院後の生活の注意点を知っている。			
説明	医師	<ul style="list-style-type: none"> 病状・手術について主治医が説明します。 麻酔科医の手術前の訪問があります。 		※準備物品 <ul style="list-style-type: none"> バスタオル1枚 T字帯 ティッシュ1箱 ナプキン大1つ 		<ul style="list-style-type: none"> 手術直後、主治医より家族の方に手術についての説明があります。(4階のデイルームでお待ちください) 					今後の日常生活についてお話があります 		
	看護師	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活・手術について、看護師が説明します。 手術室看護師の手術前の訪問があります。 									退院後の生活についてお話しします。		
検査	<ul style="list-style-type: none"> 随時、血圧、脈拍、体温を測ります。 						<ul style="list-style-type: none"> 採血があります。 						
処置 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 眠前に下剤の内服があります。 		<ul style="list-style-type: none"> 眠前に下剤の内服があります。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術衣に着替えま す。 血栓予防のストッキングをはきます。 午前中に点滴をします。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術中より点滴をしています。 痛みがある場合、鎮痛剤を投与します。 		<ul style="list-style-type: none"> 臍に入っているガーゼを抜きます。 抗生物質の内服をします。(3日間) 				
安静度					<ul style="list-style-type: none"> 床上で足の曲げ伸ばしをしたり、体の向きを変えてください。 		<ul style="list-style-type: none"> 病棟内を歩行できます。 歩き始めはしっかり足のマッサージや屈伸運動をしましょう。 合併症を予防するため、できるだけ動きましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> 院内を歩行できます。 				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> トイレへ歩いて行ってください 				<ul style="list-style-type: none"> 尿管が入っています。 		<ul style="list-style-type: none"> 歩けるようになったら尿管を抜きます。(医師の許可後) ウォシュレットトイレをご使用ください。 						
食事	<ul style="list-style-type: none"> 普通食ができます。 		<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医師より絶飲食についての説明があります。 		<ul style="list-style-type: none"> 絶飲食です。(口渇がある場合はうがいをしましょう。) 		<ul style="list-style-type: none"> 朝から普通食ができます 						
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーができます。 		<ul style="list-style-type: none"> 朝シャワーができます。 				<ul style="list-style-type: none"> タオルで体を拭き替えます。許可があればシャワーができます。 		<ul style="list-style-type: none"> シャワーができます。 				

入院計画表はおよその目安です。状態、状況により多少変更がありえることをご了承下さい

岡山赤十字病院 開始年月：H15.10 改正年月：H30.1

特別な栄養管理の必要性：有・無 (どちらかに○)

総合的な機能評価：自立 ・ 一部介助 ・ 全介助